



すぎ たに いく お
杉 谷 育 生

しん わ かい
津 和 会

みえ森と緑の県民税市町交付金事業とは

問 事業内容は、どのようなものか。小規模林家は間伐補助を受けられないと聞かすが、支援策はないのか。間伐は利用間伐が原則であるが、小規模な森林所有者も利用できる「木の駅」を、美杉地域だけでなく、安芸地域にもつくることはできないか。また、林地残材の搬出促進は、保水対策・洪水対策・獣害対策・花粉症対策につながるのではないか。

答 この事業は県の造林補助制度の改正に伴い、間伐事業の補助対象が縮小され、林地残材の発生が懸念されるため、市として林地残材の搬出経費を補助するものである。小規模林家でも、条件に応じて国や県・市単独事業で間伐の支援を実施している。「木の駅」については、母体となる組織による地域での自主的な取り組みが基本となるため、地域関係者と相談していきたい。また、林地残材の搬出促進は、水源かん養機能の維持・発揮や土砂災害による被害の低減、えさとなる植物の増加による里地への獣出没頻度の減少による農作物被害の軽減、間伐による木の本数調整により花粉飛散量を抑制するなど、さまざまな効果が期待される。

●その他の質疑・質問●

- 認定こども園の職員の給与体系について
- 津市土地開発公社の経営状況について
- 小規模開発に伴う排水対策・太陽光発電について
- 公用車の事故削減に対する取り組みについて



▲小規模開発で土砂災害の影響が心配される急傾斜地



さ どう ゆう き
佐 藤 有 毅

いっ しん かい
一 津 会

津市の観光行政の取り組みは

問 三重県観光キャンペーンによる観光客誘致活動は、一定の成果が得られたとの報道があったが、広域連携の中で、市としてどのような取り組みを行ったのか。また、今後市として、県と連携した観光施策の考えは。市内には歴史的文化財や史跡をはじめ、温泉や公園など数多くの観光地が点在している。テーマ別に観光スポットを巡るコース設定の検討は。

答 三重県観光キャンペーンについて、津市は中南勢部会の部会長として、地域の観光地の宣伝、誘客促進に取り組んできた。今後も県との連携を維持しながら、観光客誘致に向けて積極的に取り組んでいく。観光スポット巡りのコース設定については、分かりやすく手軽に津市の観光地を巡ってもらえるよう設定していく。文化・歴史・自然・健康などをテーマにしたコースや、ファミリー・女性にターゲットを絞ったコース、名松線周遊コースなどに津市らしさを体験できる体験型観光、さらには、宿泊施設などを組み入れた半日から宿泊までのコースなどを、関係団体・民間事業者と連携を図りながら、より魅力的なコースとして設定し順次提案していく。

●その他の質疑・質問●

- 青山高原保健休養地管理株式会社経営状況について
- 平成28年度津市一般会計補正予算（第2号）歳出土木費
 - 名松線利活用事業について
- 小学校の社会科教育における郷土津市の学びについて
- 小中学校の給食について
 - 食器や調理器具の更新状況は
 - 「伊勢志摩サミット給食」の実施状況は など



▲市内には、文化財や史跡をはじめ数多くの名所見所がある